

沖縄県知事 翁長 雄志殿

「米軍普天間基地辺野古移設作業、中断要請の地元住民からの要望」

昨年県民が法的に民意を示す事が出来る幾多の選挙があり、1月名護市長選、9月名護市議選、11月沖縄県知事選、12月衆議院選すべての選挙において新基地反対の候補が勝利し、これ以上ない新基地建設反対の民意が示されましたが、政府は沖縄県の民意を無視し前知事の承認を盾に強行に作業を推し進めています、現場では毎日ゲート前、大浦湾海上で住民が非暴力で声を上げつづけています、県警、海上保安庁とのにらみ合いがつづき連日怪我人がでている現状と大浦湾に10数隻の海上保安庁の大型巡視艇が停泊し夜は明々と電気をつけあたかも、国が基地をつくと決めた以上基地は作る、住民が反対しようとも基地はできるのだから、あきらめなさいとシグナルを送っているように見えます、しかし我々地元住民はそんな権力に負けるわけにいきません、新基地はぜったい作らせません、県民の方々や新基地反対をご理解いただいている他府県の方々の協力をいただき頑張っていきます。

県民が選んだ、県民のリーダーである翁長知事に下記の要望を大至急検討して頂き、防衛庁、政府に要請をお願い致します。

記

県知事が埋め立て承認についての検証を行っている期間中、最低でも新基地建設に係る作業を中断するよう要請して頂くこと

(理由)

- 1) ゲート前や海上での反対活動をして頂いている方々の安全、健康上の安全確保
- 2) 県民の民意に寄り添う県の姿勢を県民に強く示し、県民の団結強化を図る。
- 3) 政府の権力に屈しない沖縄県民の民意を後押し。

以上

2015年1月26日

辺野古、大浦湾に新基地つくらせない二見以北住民の会

会長	松田	藤子		
共同代表	勢理客	宗吉	新名	善治
	比嘉	徳幸	島袋	和則
	東恩納	琢磨	山城	義和